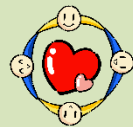


育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.212

2024. 5. 1

全国手をつなぐ育成会連合会のこれから ～寄稿～

全国手をつなぐ育成会連合会
会長 佐々木 桃子



川崎市育成会手をむすぶ親の会の皆様、こんにちは。

昨年6月の全育連理事会において、10年にわたり会長を務められた久保前会長に代わり会長に就任いたしました。どうぞ、よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、残念ながら、全国どこの地域でも育成会の会員減少が続いています。

育成会は、知的障害当事者の唯一の全国組織であります。ですから、国も都道府県も市区町村も育成会を信頼してくださり、法律や制度、仕組みを作る時、改正する時、それぞれの育成会に意見を求めてきています。また、逆にこちらから意見を申し上げ、取り上げてくださることもあります。それは今も昔も変わらず、少しでもわが子たちが人としての権利が護られ、その人らしく、当たり前で暮らすことのできる社会になるようにといった思いで、意見を申し上げているわけです。

しかし、若い世代の方から見れば、何だか固い難しい、年配の人たちの組織とされているようです。

最近、若い会員さんが増えている会の取り組みを聞いてみると、皆さん働いている方が増えたので、LINEなどを利用して、子どもが寝た後、お茶飲み会やおしゃべり会をしているとか、研修などは平日の昼間だと参加できないので、後日ユーチューブ配信して視聴してもらっているなどということです。

昨年、全育連では障害基礎年金のDVDを作成しました。今後も、若い世代が必要としている勉強会ができるような取り組みを検討していきたいと考えています。

育成会は、養護学校教育義務制、必要な福祉サービス、障害基礎年金や各種手当、様々な割引サービスなどを実現してきました。しかし、社会の変化に合わせ活動方法も変えていかなければなりません。一人では何もできません。わが子たちが安心して暮らすことのできる社会を目指してともに活動していきましょう。

ホームページ、リニューアル公開

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



「川崎市への令和6年度施策要望」回答について

副会長 加藤 敦子

昨年8月に当会から川崎市へ提出した「令和6年度施策要望」について、3月25日（月）に回答を受け取りました。川崎市からは障害健康福祉部長や担当部署の課長など数人、当会からは三役が出席しました。



サービス従事者の確保と人材育成について、専門職にも家賃補助を3年間上限3万円の制度を設け、現在も受付をしているとのことでした。

また、住まいの整備に関して、グループホーム100床増は今後も継続、日中サービス支援型は現在市内4カ所、来年度も数カ所できる予定があり、重度障害者の住まいへの対応は引き続き検討していくそうです。

多摩区と幸区にまだ地域生活支援拠点施設がないことについて、両区とも広い土地が確保できないが、多摩区に関しては、今後「なしの実」の跡地が検討されるかもしれないという話でした。

今回、要望内容とは別にいくつかの質問事項について話をしました。

「国の指針で相談支援事業は福祉事業ではないので、受託者は10%の納税が必要となり、事業所のサービス内容に影響が出てしまう」という説明を一部の保護者が子どもの通所先から聞いて不安になっていると伝えました。市からは「10%の負担増分は市が負担しているので、事業者が受け取る金額は減っていない」と説明がありました。

また「国の報酬体系が変わったため、報酬が減って施設運営に影響が出てしまい、送迎や利用時間など利用者にも負担が増えるかもしれない」という説明を受けた保護者もいることについては、「現在障害者福祉では1日単位の報酬体系だが、それが介護報酬と同じく時間単位に変わる。今後は1時間刻みの報酬に変わるので、施設によっては運営に影響が出るところもあるかもしれない」という話でした。ただ、延長加算が7時間以上で報酬アップするので、夕方の預かりニーズに事業所が対応していける可能性も出てくるのではないかとということでした。

先日の当会研修会で説明があった「地域連携ネットワーク」は、川崎市社会福祉協議会を中心に令和3年から開始しているとのこと。今後の成年後見制度改定も踏まえて、当会でも注視していく必要があると思います。

その他、コロナウイルス予防接種の助成をお願いしました。

要望は継続審議事項が多く、要望も回答も毎年大きな変化はありません。しかし、少しずつですが良い方向に進んでいると感じます。また、今回の話し合いで、保護者が事業者から聞く話と市側の説明に大きなズレがあることに正直驚きました。障害児者のより良い未来のためにも、川崎市との意見交換の場を継続していくことの大切さを実感しました。

『川崎市育成会手をむすぶ親の会 第12回総会』のお知らせ

総会は代議員制で開催します。支部選出の代議員以外で代議員に応募される方は5月10日（金）までに各支部長までお申し込みください。

【日 時】

令和6年5月27日（月）
10時30分～12時00分

【議 事】

1. 令和5年度事業活動報告（案）
2. 令和5年度決算報告（案）・会計監査報（案）
3. 会則改正（案）
4. 令和6年度事業活動計画（案）
5. 令和6年度予算（案）

【場 所】

てくのかわさき2階てくのホール

2023年度育成会フォーラム

会計 梅田 順子

育成会フォーラムが3月下旬から、会員限定で動画配信されました。今回は法改正と報酬改定を中心にお話がありました。

【法改正・報酬改定のポイント解説】

全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長

又村 あおい 氏

児童福祉法・障害者総合支援法の改正では、グループホームの内容拡充や虐待防止、身体拘束適正化の徹底、意思決定支援の適用などが盛り込まれている。行動障害関連や医療的ケア児者への報酬が手厚くなっている。



【パネルディスカッション】

障害者総合支援法・児童福祉法改正と

報酬改定を踏まえた今後の知的障害者福祉のあり方

進行 又村 あおい 氏 (前掲)

登壇者 野澤 和弘 氏

植草学園大学 副学長

高木 誠一 氏

全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員長

片桐 公彦 氏

全国手をつなぐ育成会連合会策センター専門委員
・(福) みんなでいきる理事

佐々木 桃子 氏

全国手をつなぐ育成会連合会 会長

野澤氏：入所施設への加算配分が多い。その分地域移行への意思確認をきちんとすべきである。地域に出てプライバシーのある生活ができるようになることが当たり前になると良いと思う。報酬改定は全体的にバランスを取っているのかもしれないが、サービスの質の評価をするような体制を作してほしい。



片桐氏：方向性は良いかもしれないが、数字で見ると偏りがある。財務省から厚労省に予算への圧力がかかっているようである。生活介護では制度は拡充したが、みんなが幸せな感じにはなっておらず、職員の事務仕事が増えて余裕がない支援になっている。事業所がコンセプトをしっかりとしていく必要がある。



高木氏：「入所施設から地域へ」と言っているのに、重度の人が入るグループホームが足りていない。人材が集まらない理由として、福祉の哲学が希薄になっていると思う。虐待研修をする前に人権について学ぶべきである。今福祉が必要としているのは制度ではなく「人」である。



佐々木氏：全体の予算は限られているので、どこかが増えればどこかが減らされるのが現実。職員のモチベーションが上がるような施設での生活を考えなければならないし、現場を見て報酬改定をしてほしい。意思決定支援では、たとえ当事者が重度であっても親の意識を変える必要があると思う。



最後に：行動障害への対応には加算や人材育成が必要。行動をやめさせるのではなく、見守ることで本人が幸せであると感じることが重要。支援は文化であり、文化はお金ではないという世の中になってほしい。

報酬改定は原点に戻って、本当に頑張っている障害者福祉に取り組んでいる事業所にお金が入るように考えてほしい。今のままでは人材のレベルアップが望めない。

全国手をつなぐ育成会連合会「令和5年度正会員代表者・事務局長合同会議」報告

会長 美和 とよみ



全国手をつなぐ育成会連合会
会長 佐々木 桃子 氏

ZOOM によるオンラインで5回に分かれて開催されました。当会は3月14日(木)午前の部に参加しました。6月の総会に向けた議案書と組織作り等についての会議です。

各正会員の最大の課題は会員減少です。今回「団体賛助会員制度を用いた会員増強策の展開について」の説明がありました。今後理事会等を経て、より良いものになるよう話し合いがされます。その後、各正会員への説明会も開催の予定です。当会も会員減少には

歯止めがかかりません。この提案が会の活性化に繋がることを願います。

2023年度行政説明会

副会長 吉野 明美

今年度も行政説明会は、動画配信されました。



1. 特別教育の動向について

文部科学省特別支援教育局

特別支援教育課課長 石田 善顕 氏

特別支援の現状は、少子化の影響で児童・生徒が減少している一方で、特別支援を必要とする数は増加の状況の中、量的拡大にどうやって対応していくかを課題として取り組んでいると説明がありました。

2. 障害所雇用の動向について

厚生労働省障害者雇用対策課課長補佐 細川 拓郎 氏

民間企業の雇用者数の実雇用率が法定雇用率を初めて上回り、障害者雇用が着実に進展しているという説明がありました。雇用率向上だけでなく、多様なニーズに対する支援や雇用の質の向上の推進をしていくと話されました。

3. 障害保健福祉施策の動向について

厚生労働省障害福祉課・障害者虐待防止専門官・障害福祉専門官 松崎 貴之 氏

障害者総合支援法の改定があり、グループホームの支援内容、本人・家族への支援体制の整備、就労選択支援の制度化等について説明がありました。また、報酬改定については、サービス提供時間ごとの基本報酬の改定、強度行動障害者の支援体制強化についての取り組みが目立ちましたが、虐待防止措置未実施の場合減算とあり、虐待抑止につながることを願いました。そして、施設・介護職員処遇改善加算の見直しがあり、人材不足解消を期待します。

4. 障害児支援の動向

こども家庭庁支援局障害児支援課課長 栗原 正明 氏

こども・家族への質の高い支援の確保・充実と地域全体の障害児支援の強化について説明の後、次元の異なる少子化対策の実現に向けて、障害児支援のこれからについて説明がありました。

今回の行政説明会では、特に障害者支援施設からの地域移行に向けた支援の強化についての話でした。障害のある人が安心して一人暮らしができるよう、必要な人に必要な支援が届いてほしいと思いました。

「2023年度行政説明会・育成会フォーラム」は5月17日までユーチューブで配信されます。ご希望の会員は当会ホームページよりお申し込みください。

『令和6年 川崎市心身障害児者福祉大会』開催のお知らせ

大会スローガン ～障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に～
川崎市内の心身障害児者とその家族が安心して暮らせるように、地域福祉の向上と自立を図ることを目的に開催されます。

<p>【日 時】 2024年6月22日（土） 13:00～15:00 受付開始12:30～</p> <p>【場 所】 川崎市総合自治会館 ホール 川崎市中原区小杉3-600 TEL: 044-733-1232 コスギサードアベニュー4階 (エレベーターをご利用ください)</p>	<p>第一部 式典（開会、挨拶、祝辞、大会宣言、閉会）</p> <p>第二部（13時40分～14時45分の予定） 講演会「ソーシャルアクション～ インクルーシブな社会のために」</p> <p>講 師 ^{うちだ} ^{かつやす} 内多 勝康氏（元NHKアナウンサー） （社会福祉法人あおぞら共生会・ 世田谷区医療的ケア相談支援センター広報）</p> <p>* 関心のある方はどなたでもご自由に参加できます。</p>
---	---

やまゆりとの共催研修会

「成年後見制度ってなーに？～今更聞けない準備・手続き・誰にする？～」

研修事業推進委員会 齋藤 麻子



3月5日（火）てくのかわさき（てくのホール）に於いて、やまゆりとの共催研修会を開催しました。テーマは、「成年後見制度ってなーに？～今更聞けない準備・手続き・誰にする？～」で、まだ身近に感じてはいないけれど、今後検討する可能性がある内容でした。講師は、全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長 又村あおい氏です。雨模様にもかかわらず参加者は約60名で、講師の魅力と関心の強さを実感しました。

研修会のはじめに、能登半島地震での障害者の避難状況について報告がありました。避難所での窮屈な生活状況等、心が痛くなるような話もある中、ある避難所の学校で、地域の方の提案で自閉症の方の避難場所として学校の教室を提供してもらったという、障害者に対し配慮された嬉しい報告を聞くことができました。

又村さんは具体的に分かりやすい事例を挙げながら話すので、成年後見人制度について、あまり知識のない私でも分かりやすい内容でした。利用するのは、まだ先だと思っていましたが、今から少しずつでも家族で検討し、本人と関わりのある方々ときちんと話しておくことの大切さを実感しました。

研修の後半で、今後、成年後見制度の抜本的な見直しの検討が始まり、スポット利用も可能になるという情報もありました。私たちができることは、新しく整備されていく成年後見制度の進行状況を注視しながら、必要な時には声を上げていくことだと感じました。

神奈川県手をつなぐ育成会「子育て応援ブック」の紹介 「大丈夫！知的障害児も成長するから！」

神奈川県手をつなぐ育成会から、障害児の子育て真っ最中の方たちを応援しようと小冊子を発行されました。ホームページからPDF版を無料でダウンロードできます。是非ご覧ください。



研修事業推進委員会

行政関係者との研修会 「障害を持つ子どもの65歳問題と親の高齢」

2月15日（木）てくのかわさき（てくのホール）に於いて、行政関係者との研修会を行いました。一般参加の方も含め、総勢39名でした。

講師として川崎市健康福祉課地域包括ケア推進室障害者支援担当の敷野めぐみ氏とすえなが地域包括支援センター長の佐藤麻里子氏をお招きして講演をしていただきました。



敷野 めぐみ 氏

まずは、敷野氏より障害福祉サービスと介護保険サービスの違いについて説明がありました。その中で、65歳を迎える年に制度として介護保険サービスが優先されます。しかし、障害の特性により介護保険にない障害者独自施策のサービスを利用できます。役所からのお知らせがきたら介護保険の認定を受け、障害福祉サービスの利用の手続きをすることで「同じ施設にいたほうが良いですね」となった場合など、個別の状況に応じて障害福祉サービスを利用できることを聞き一安心しました。

佐藤氏からは、サービスにつながるまでを、ある家族の実例でお話しをしていただきました。子どもと共に親も年齢を重ねてきて、自分自身のこと、子どものことの心配が出てきたとき、地域包括支援センターが子どもの通所施設と連携して支援につなげていくので、「困りごとを我慢せず相談してください」と、とても心強い言葉をいただきました。そして、たくさんの質疑応答があり充実した時間になりました。



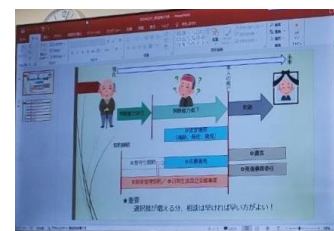
佐藤 麻里子 氏

当会では、これからも明日へつながる研修会を行っていきたいと思います。

「障害者団体部会リーダー研修会」

会計 三浦 ひろみ

2月27日（火）川崎市総合福祉センター6階研修室に於いて、令和5年度障害者団体部会リーダー研修会が開催されました。今回のテーマは「成年後見制度と終活について」です。あんしんセンター職員3名から話を聞きました。



支援学校を卒業して早10年、親も還暦を超える年齢を迎えて、親なき後や自身が高齢者となり認知症への不安などを身近に感じるようになり、今回は深く内容を学ぶ機会になりました。成年後見制度の概要から資料も使い丁寧に説明してくださり、法定後見と任意後見があること、後見人にできることできないこと、誰が後見人になれるのかなど、利用するご本人の判断能力によって選べる選択肢や内容もずいぶん違ってきます。また、成年後見制度が必要な時について具体的なケースを用いて説明したり、後見人の申立手続きの流れなどを教えてくださいました。

研修会を終えて、現状の成年後見制度の問題点も見えてきましたが、見直しを含めた新しい情報を常にアップデートしていく必要があると感じました。また、親が急に亡くなる場合や判断能力が不十分になった時に備えて、家族で思いを共有することも大切だと思いました。



「第50回 かわしんふれあい市場」開催のお知らせ

【日 時】 令和6年5月17日（金） 10:00～15:00
 【場 所】 川崎信用金庫本店1階ロビー

かわさきキャラバン隊(知的障害疑似体験)講演

☆1月30日(火)3、4時間目、小田小学校4年生3クラスとキャラバン隊メンバーを繋げて、オンラインで行いました。

オンラインは子どもたちにとって違和感はなく、画面を通して活発なやりとりができました。子どもたちの意見や感想は、本当に素直でこちらも笑ってしまう答えもあり、大人向けの講演とは違う楽しさがありました。

終わったあと、子どもたちから『普通って人それぞれなんだね。』という声が聞こえてきたのでよかったです」と先生から報告がありました。

☆2月7日(水)宮前市民館2階にて開催された、宮前区役所地域みまもり支援センター主催地域包括ケアシステム推進イベントに参加しました。

2階ロビーで、会の紹介と「親の話」を2つ、知的障害疑似体験コーナーで3つの疑似体験を行いました。

☆2月14日(水)菅地区社会福祉協議会主催の「知的障害疑似体験講演」を菅会館で行いました。菅町会は日本一大きい町会と知られています。予定人数を上回る43名の方が参加がありました。

☆2月27日(火)多摩区役所会議室にて、多摩区登戸地区民生委員児童委員協議会定例会で、30人の委員の皆様を前に行いました。

☆3月8日(金)稲城市福祉センターにて、稲城市社会福祉協議会主催の福祉教育講座「知的障害ってなんだろう？」で、講演を行いました。参加者は26名でした。

参加された方々は、感心したり、首をひねったりと、毎回熱心に取り組んでくれました。体験したことで、実感したり気づきもあったようで、共感していただけたように感じました。

これからも、知的疑似体験を通して、知的障害のある人の気持ちを理解してもらえるように活動を続けていきます。



一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の 会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?*

(*)ぜんち共済のお客様アンケートより

久保会長とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちらから

<https://youtu.be/MU8sw5liByk>

特長1

**代理手続き
代理告知が可能**

障がいのある方向け
プラン

特長2

**告知対象
疾患の緩和**

障がいのある方向け
プラン

特長3

**“親なきあと”に
備える補償**

障がいのある方
ご家族向けプラン

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

【お問い合わせ先取扱代理店】

ぜんち共済株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851

URL: <http://www.z-kyosai.com>

MAIL: gan@z-kyosai.com

(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分
スマホでカンタン資料請求

*QRコードはダウンロードの登録商標です。

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「ノンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

2022年5月作成 22-TC00935

支部通信

川崎支部日帰りバス旅行

川崎支部 加藤 敦子

1月27日(土)支部日帰りバス旅行を実施しました。目的地は『館山いちご狩りセンター』。31名の参加でした。

川崎市役所前を出発し、海ほたるを經由して一路館山へ。センターのハウス内は、車椅子利用者でもいちご狩りができるよう高設栽培になっていました。数種類のいちごは新鮮で甘く美味しかったです。その後、『JA グリーン館山』で新鮮な野菜等の買い物を楽しみました。

次に、浜金谷の『ザフィッシュ』で昼食。館内のお土産コーナーで地元の海産物や名産品などの買い物をし、海ほたる経由で川崎に戻りました。

皆が満面の笑顔でおしゃべりをしながら過ごす時間はとても楽しく、幸せを感じます。「今回も楽しかった」「また行きたい」という声をたくさんいただき、企画して良かったと心から思えるバス旅行になりました。



高津支部新年懇親会

高津支部 森 由里

1月31日(水)福祉パルたかつの研修室にて、支部新年懇親会を行いました。来賓として高津区社会福祉協議会地域課下平課長、当会の三役、ともかわさき分室藤巻分室長にご出席いただきました。皆さんからの近況報告では、障害についての悩みやコロナ流行や親子が歳を重ねてきたことによる環境の変化や健康の問題など様々なお話がありました。短かい時間でしたが、日頃の集まって話し合えることの大切さを感じたひとときでした。



高津区身体障害者協会と共催研修会

高津支部 三浦 ルイ子

2月28日(水)てくのかわさきてくのホールにて、「障害ってどこにあるの?こころと社会のバリアフリーについて」の研修会を行い100名近い出席がありました。

まず、国土交通省総合政策局バリアフリー政策課課長の久島勇一氏より、「こころと社会のバリアフリーハンドブック」について説明をしていただいた後、当事者から「障害・それぞれが体験しているバリア」について、当会からは森由里さんが、2人の知的障害のある子を育てる中での出来事について発表しました。2時間を超える研修会になりましたが、皆さん話に耳を傾けてくださり、アンケートにも感想やご意見を寄せてくださいました。



多摩支部懇親会

多摩支部支部長 神田 明子

2月29日(木)多摩支部懇親会を多摩川沿いの日本料理「柏屋」で行いました。参加者は三役と、ともかわさき分室藤巻分室長を含め12名でした。コロナ禍で会食を中止していたこともあり、いつもより豪華にと計画いたしました。

久しぶりに皆さんにお会いすることができ、近況などを語り合うことができました。おしゃべりが弾み、あっという間にお開きの時間になってしまいました。子どものこれからの生活についてはもちろんですが、親の高齢や病気など心配事は尽きません。これからも情報交換しながらおしゃべりを楽しむ機会を作っていこうと思います。

美味しいお料理と楽しいおしゃべりで、たいへん贅沢な時間になりました。



私たちの広場「料理教室」

2月11日（日）てくのかわさき調理実習室で料理教室を行いました。今回のメニューは“あんかけ焼きそば”“餃子”です。デザートは先生が牛乳ゼリーを作ってきてくれました。始めに駅の改札に集合し、近くのスーパーへ買い出しに行きました。購入リストを見ながら、女性陣は野菜と肉類、男性陣は調味料類と自然に別れて買物をした後、てくのかわさきに移動しました。

調理する班分けも男女別に分かれてしまいました。内心「大丈夫かな…」と思いましたが、杞憂でした。野菜を切ったり、オーブン担当になったり、食器を出して来たり、それぞれが自ら動いていました。キャベツのみじん切りは難しかった様子で、大きめ野菜の餃子の種が出来上がり、一人5枚程度をノルマとして餃子を包みましたが、種が余ったので別に炒めてもう一品仕上げていました。どれも美味しかったです。

今回は材料もほぼ使い切り、買物から調理、後片付けは来た時より美しく！完璧でした。
(事務局)



すったもんだの毎日

キッズ携帯。息子の生活には欠かせないアイテムです。小学校へ1人で登校できるようになり持たせ始めましたが、おかげで行動範囲がとて広がりました。今では電車とバスを乗り継いで作業所へ通所しています。

心配も困りごととも確かに増えました。乗り物好きの息子、GPSで居場所を確認すると、通所途中にいろいろな路線のバスを楽しみ、またそれを注意されるとわかっていて私からの着信を拒否...



つい先日は駅員さんから電話があり、話を聞くと携帯電話を落としてしまったと駅員室に泣きながら来たとのこと。

電話を受けた時は驚きましたが、困った時に助けを求められたことには成長したなど感じた出来事でした。どうしてもできないことに目が向きがちですが、気が付けば困った時に自分で電話をかけたり代わりにかけてもらったり。ちょっとしたメールも送信できるようになりました。

見守る方はなかなか大変です。でも彼にとってはとても良い経験に、そして成長にもつながっているようです。
(M・K)

知的障がい児者・自閉症児者の 発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

- 就労に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容		
病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号路 2F
TEL : 03-5321-3373 FAX : 03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階
TEL : 03-5401-3660
受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号
神奈川県社会福祉センター5F
TEL : 045-314-7716 FAX : 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2024年1月現在の内容です。(ID-007027 2025-03)

2023年度は9,900名余のご加入ありがとうございました。毎月1日付で加入できます。2024年度もご加入よろしくお願いたします。

川崎市関係主要職員の紹介（令和6年4月1日現在）

【健康福祉局】

健康福祉局長	石渡 一城
障害保健福祉部長	谷 浩昭
障害計画課長	平井 恭順
障害者施設指導課長	山口 晴生
障害福祉課長	泉 基広
精神保健課長	大町 法久
障害者社会参加・就労支援課長	池田 幸
総合リハビリテーション推進センター所長	竹島 正
総合リハビリテーション推進センター副所長	小林 宏高
総合リハビリテーション推進センター担当部長	中山 浩
総合リハビリテーション推進センター総務・判定課長	廣岡 真生
総合リハビリテーション推進センター企画・連携推進課長	塚田 和広
総合リハビリテーション推進センターこころの健康課長	植木 美津枝
南部地域支援室長	倉本 哲義
中部地域支援室長	佐藤 泰雅
北部地域支援室長	櫻井 直子

令和5年度特別支援学校等卒業生の進路状況

1. 卒業の状況

学校名	卒業生数
市立中央支援学校	60
市立田島支援学校	50
市立聾（ろう）学校	1
県立鶴見支援学校	1
県立中原支援学校	29
県立高津支援学校	20
県立麻生支援学校	28
市外特別支援学校	3
その他の学校	114
合計	306



2. 近年の特別支援学校等卒業生進路状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
日 中 活 動	就労移行	16	18	16	5.2%
	就労継続	35	39	37	12.1%
	生活介護	61	83	70	22.8%
	自立訓練	15	21	18	5.9%
	地域活動支援センター	4	3	2	0.7%
	計	131	164	143	46.7%
入所		1	0	4	1.3%
就職		69	33	43	14.1%
職業訓練機関		6	4	3	1.0%
進学		29	6	21	6.9%
その他		60	112	92	30.0%
合計		296	319	306	100.0%

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和6年1月17日～令和6年4月16日まで》

<各種会議、行事>

1月23日(火)	第9回運営委員会	オンライン
24日(水)	第3回研修事業推進委員会	オンライン
29日(月)	第5回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
31日(水)	高津支部新年懇親会	福祉パルたかつ研修室
2月8日(木)	三役会議	オンライン
15日(木)	行政関係者との研修会	てくのかわさきてくのホール
21日(水)	第10回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
28日(水)	高津支部研修会	てくのかわさきてくのホール
29日(木)	多摩支部懇親会	柏屋(登戸)
3月2日(土)	春のレクリエーション	マザー牧場(千葉県)
5日(火)	やまゆりとの共催研修会	てくのかわさきてくのホール
5日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
11日(月)	第5回権利擁護委員会	オンライン
12日(火)	第4回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
25日(月)	川崎市施策要望回答	川崎市役所本庁
26日(火)	第11回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
4月2日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
9日(火)	令和6年度第1回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
16日(火)	令和6年度第1回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

1月17日(水)	川崎市福祉有償運送運営協議会	川崎市役所本庁舎
18日(木)	あんしんセンター業務監督審議会	川崎市総合福祉センター
18日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
19日(金)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
24日(水)	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「とちり」
30日(火)	川崎市立小田小学校(キャラバン隊講演)	オンライン
31日(水)	まちづくり連絡調整会議	川崎市役所本庁舎
2月6日(火)	障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
7日(水)	宮前区役所イベント(キャラバン隊講演)	宮前市民館
14日(水)	菅地区社協研修会(キャラバン隊講演)	菅会館集会場
15日(木)	川崎市障害者施策審議会	オンライン
15日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
19日(月)	やまゆり事業推進委員会	県社会福祉センター
19日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
21日(水)	三団体会議	地域福祉施設「ちどり」
27日(火)	障害者団体部会リーダー研修会	川崎市総合福祉センター
27日(火)	登戸地区民生委員児童委員研修会(キャラバン隊講演)	多摩区役所
29日(木)	障害者作品展実行委員会	川崎市教育文化会館
3月1日(金)	障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
6日(水)	関東甲信越ブロック代表者会議	オンライン
7日(木)	川崎市地域自立支援協議会	川崎市役所本庁舎
8日(金)	稲城市社協主催福祉講座(キャラバン隊講演)	稲城市社協
8日(金)	川崎市立中央支援学校高等部卒業式	川崎市立中央支援学校
8日(金)	川崎市立田島支援学校高等部卒業式	川崎市立田島支援学校
14日(木)	全育連代表者・事務局長会議	オンライン
14日(木)	あんしんセンター業務監督審議会	川崎市総合福祉センター
18日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
21日(木)	育桜福祉会評議員会	育桜本部
21日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
25日(月)	川崎市社会福祉協議会評議員会	てくのかわさき
27日(水)	川崎市社会福祉事業団評議員会	事業団事務所
28日(木)	やまゆり知的障害児者サポート協会理事会	県社会福祉センター
4月5日(金)	川崎市立中央支援学校入学式	川崎市立中央支援学校
5日(金)	川崎市立田島支援学校入学式	川崎市立田島支援学校
15日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン

春のレクリエーション

余暇活動委員長 安達 ゆかり

3月2日(土)千葉県「マザー牧場」に行きました。参加人数は62名でした。菜の花畑では、春を感じました。時折雪が舞う寒さの中、皆さんは思い思いに「シープショー」や「マザーファームツアー」を楽しみました。牧場での体験をした後、レストラン「FARM DINER」に集まり、美和会長の挨拶のあと、昼食の「にぎわい膳」を食べました。その後、「四季の蔵」で特産物などお土産のお買い物をして、予定より早く帰着できました。



海水訓練のお知らせ

日時 令和6年7月17日(水) 場所 千葉県ホテル三日月シーパーク勝浦
《スパードーム アクアパレス》



※チラシをご参照のうえ、各支部余暇活動委員・支部長へお申込みください。

編集後記

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから1年が経ちました。コロナ禍では活動の中止や縮小で、広報紙を発行できない時もありましたが、以前と同じように活動できる日々が戻ってきました。今回も広報紙212号を発行できることを嬉しく思うとともに、コロナ禍での経験と普通の生活の大切さを忘れずにいたいと思います。(小澤 千枝)

【もくじ】

- P. 1 … 寄稿 全国手をつなぐ育成会連合会会長 佐々木桃子氏
- P. 2 … 川崎市への令和6年度施策要望の回答/第12回総会のお知らせ
- P. 3 … 2023年度育成会フォーラム
- P. 4 … 令和5年度正会員代表者及・事務局長合同会議報告/2023年度行政説明会
- P. 5 … 令和6年福祉大会のお知らせ/やまゆりとの共催研修会/
神奈川県手をつなぐ育成会小冊子紹介
- P. 6 … 行政関係者との研修会/障害者団体部会リーダー研修会/
第50回かわしんふれあい市場の開催のお知らせ
- P. 7 … かわさきキャラバン隊講演/ぜんち共済広告
- P. 8 … 支部通信(川崎支部・高津支部・多摩支部)
- P. 9 … 私たちの広場/すったもんだの毎日/やまゆり広告
- P. 10 … 川崎市主要職員紹介/卒業生の進路状況/近年の卒業生の進路状況
- P. 11 … 親の会活動報告
- P. 12 … 春のレクリエーション/海水訓練のお知らせ/編集後記/もくじ

…編集担当…
三浦ルイ子
板垣ひとみ
安達ゆかり
加藤敦子
梅田順子

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ

〒213-0011 川崎市高津区久本3-6-22 地域福祉施設「ちどり」

TEL: 044-812-2966 FAX: 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>